



かめいど 亀戸 したやどうほうちよう 下谷同朋町 みなみかやばちよう 南茅場町

ねづ 根津 きゆう えもんちよう 久右衛門町 ごふくちよう 呉服町

ほんじよなかのごう 本所中之郷 かんださくまちよう 神田佐久間町 かまくらがし 鎌倉河岸

ほんじよあいのちよう 本所相生町 かんださえきちよう 神田佐柄木町 しょうぶくろちよう 小袋町

ほんじよはやしちよう 本所林町 かんだとしまちよう 神田豊島町 いいたばし 飯田橋

ふかがわろっけんほり 深川六間堀 やまとちよう 大和町 ごじいんがはら 護寺院ヶ原

ふかがわごけんほり 深川五間堀 とおりはたごちよう 通旅籠町 こうじまちひらかわちよう 麴町平川町

ふかがわいつしきちよう 深川一色町 こでんまちよう 小伝馬町 いちがやなんどちよう 市ヶ谷納戸町

ふかがわはまぐりちよう 深川蛤町 かじちよう 鍛冶町

ふかがわふゆきちよう 深川冬木町 こんやちよう 紺屋町

ふかがわめひさちよう 深川亀久町 うきよこうじ 浮世小路

ふかがわやまとちよう 深川大和町 うおがし 魚河岸

ふかがわすざき 深川洲崎 ほりえちよう 堀江町

ふかがわきば 深川木場 てれふれちよう 照降町

あさくさひがしなちよう 浅草東仲町 よしちよう 芳町

あさくさいもくちよう 浅草材木町 しんざいもくちよう 新材木町

あさまさんざえもん 浅間三左衛門 (元上州富岡七日市藩士 くすのきまさしげ 楠木正繁 よこかわかまめし 横川釜飯)

おまつ (女房 出戻り じゅうぶいちや 十分一屋)、おすず (娘)

またしち 又七 (おまつの弟)、上州屋富蔵 (糸屋 亡人) じようしゅうやとみぞう

じろきち げたしよくにん 次郎吉 (下駄職人) — おかめ (後妻)、しょうきち 庄吉 (息子)

やへえ 弥兵衛 (大家)

じんごろう 甚五郎 (地主 どうりよう 大工棟梁)、勘太 (若衆) かんだ

ゆうげつろうきんべえ 夕月楼金兵衛 (茶屋 いっこくもまたせん 一刻藻股千)

やおはんしろう 八尾半四郎 (南町定町廻り同心 → 用部屋手付同心 へおすかし 尻尾酢河岸)

絹代 (母)

はんべえ 半兵衛 (叔父) — おつや (妾)

つついきいのかみまさのり 筒井紀伊守政徳 (南町奉行)

あらかへいだゆう 荒木平太夫 (本所見廻り同心)、ぶんじ 文治 (岡っ引)

せんぞう 仙三 (御用聞き 廻り髪結い)

藪にらみの卯吉 (巾着切り親分) うきち

もへい つきこめや 茂平 (搗き米屋) — おとみ (女房)、ゆきの 雪乃 (養女 ならばやしひょうご 榎林兵庫 元徒目付の娘)

とどろきじゅうない ぶんごうすきろうにん 轟十内 (豊後臼杵浪人) — おせい (女房 洗濯女)、おきぬ (娘)、さこん 左近 (叔父)

よたかやじゅうろうべえ 夜鷹屋十郎兵衛 (元締め)、やへいじ 弥平次 (配下)

じんろく いかけや  
甚六（鑄掛屋） — おせち（女房）

しげまつ しずね  
茂松（盗人 元七日市藩士）、静音（妹 元七日市藩奥女中）

ねのきち げんた  
子ノ吉（囚人）、玄太（読売屋）

いしでたてわき  
石出帯刀（牢屋奉行）

あわ やまんぞう やそじ  
安房屋万蔵（炭屋）、八十次（手代）

おはつ（筆屋小梅園）

ほんごうやすのしん  
本郷安之進（年番方与力）

いけうちはりまかみなおさだ にきせんじゅうろう  
池内播磨守直定（勘定奉行）、二木銃十郎（用人）

よしかわぬいのすけ きもとさくべえ はつえ  
吉川縫之介（炭奉行）、木元作兵衛（勘定方） — 初枝（娘 おはつ）

かめじろう さめがわし つかまきし  
亀次郎（鮫皮師） — おえん（柄巻師）

うめきち かたなとぎし かじはらげんのしん ふゆみ げんた  
梅吉（刀研師 梶原源之進） — 冬実（妻）、源太（息子）

よこみねぶんご  
横峰文悟（虚無僧 元松江藩士）

やえがしもんどのしょう やさぶろう じんぼち  
八重樫主水正（奥右筆組頭）、弥三郎（三男）、甚八（中間）

くまのやぜんしち  
熊野屋善七（材木問屋）

ゆげとうま  
弓削冬馬（用心棒 七日市藩徴税役）、琢馬（兄）

おしん（芸者）

いとういつべき せいりゅうかん  
伊東一碧（青龍館 道場主）